

薬草園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年4月
25日 第5号



チョウジソウ（キョウチクトウ科）

薄青色の5つに裂けている花びらがとても爽やかで美しい花です。川原や原野のやや湿った草地に生える多年草で日本ではこの1種のみあるチョウジ属。昔はよく見られたのですが現在は絶滅危惧種。花の形が横から「丁」と見えることからのようです。全草にインドールアルカロイド、 β ヨヒンビン（ α_2 受容体拮抗薬ヨヒンビンの立体異性体）が含まれる毒草ですが、触るだけでは心配いりません。ヨヒンビンを含む植物はアフリカでは「媚薬」として用いられていました。

カラタネオガタマ（モクレン科）

今、園内には甘～～い香りが漂っています。カラタネオガタマの花の香りです。バナナ味のチューインガムのような匂いかな？中国原産の常緑小高木。中国名は「含笑花」で咲いている花の形を見ると、なるほど！と思われそうですよ。カラタネは「唐種」が語源のようです、私はなかなか結実しないので「空種」と思っていました。1日のうち、香りが最も高いのは午後3時～4時頃です。

今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

